



これからの東京を話そう

こどもワークショップで 話し合ったこと

多摩都市モノレール延伸部

(上北台～箱根ヶ崎)のまちづくり

2024年8月23日(金)実施

みなさんから
聞いた意見は
今後のアクションに
つなげていきます



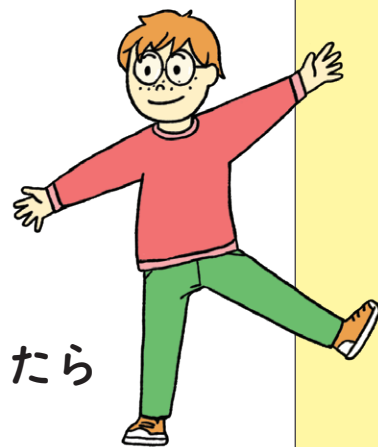
多摩都市モノレール 延伸部（上北台～箱根ヶ崎）の まちづくり

【開催日】2024年8月23日（金） 【場所】立川駅周辺会議室

多摩都市モノレール延伸部のまちづくりについて、
子供たちの理想のまちや、よりよいまちにするための
アイデアを話し合ってもらいました。
みなさんの声と、その声をもとにした東京都の取組や受け止めを紹介します。

みなさんに聞いたこと

- ✓ 自分のまちのよいところ
- ✓ 自分のまちのもっとこうだったら
いいのになと思うところ
- ✓ こうだったらいいな！理想のまち！



ワークショップの流れ



1

話し合い

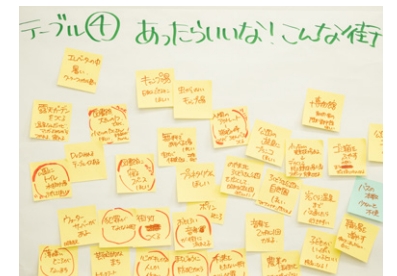
グループになって
自由に意見を出し合いました。



2

みなさんの声

紙に書き出して、いろんな意見が
見えるようにしました。



3

発表

自分で、グループで、
考えたことをみなさんに
伝えました。



4

声を届ける

東京都の職員に、みなさんの声を
届けることができました。



みなさんの意見やアイデア

✓ 安心・安全について

薄暗いところがないまちに
してほしい (小4)

街灯をつくる
(小4)

安全の観点からも道は
広くした方がいい。
街灯がないと、夜は危ない (高1)

✓ 子育てについて

子育てしやすい
まちであることも大事
(高1・高3)

子供が
いっぱいいるといい (小4)

✓ 暮らしについて

住んでいる人もいるし、
観光している人もいい
(高3)

コミュニティがあるのがいい
(高3)

人との繋がりは
あったほうがいい
(高3)

すみわけできるのがいい、
観光（お金を落とす人）と
住む人が行くところを分ける (高1)



✓ 自然について

安らぎがあるまち
(高1・高2)

自然のあるまちがいい
(高3)

✓ 遊び場について

図書館。
大きいのも一つでなく、
小さいのもたくさんほしい
(小4)

土地は余っているはず
(高1)

キャンプ場（BBQできるところ）
がほしい (小6)

遊園地があるまち
(小5)

✓ 農業について

地産地消すれば、
地域の活性化にもつながる
(小6)

モノレールで
野菜を運ぶ (小6)

住んでる近くに
家庭菜園があるといい
(小6)

箱根ヶ崎で作って
立川で売る (小6)



✓ ブランド力^{りょく}について

「モノレールを まちの誇れるシンボルに^{ほこ}」

(高2)

駅^{えき}にシンボルを
置いてほしい (高2)



ブランド力^{りょく}があったほうがいい
(高2)

駅舎^{えきしゃ}を玉造駅^{たまづくりえき}の駅ビル^{えきビル}みたい
にしてほしい (中1)

こんな意見^{いけん}もありました

バス^{ほんすう}の本数
少ないと不便^{ふべん} (小4)

面白い音楽^{おんがく}が
まちに流^{なが}れているといい
(小5)



東京都^{とうきょうと}の受け止め

ワークショップでいただいた意見^{いけん}を
踏まえて検討した延伸部^{えんしんぶ}エリアのま
ちづくり計画を、「多摩のまちづく
り戦略^{せんりやく}」に反映^{はんえい}しました(TAMAま
ちづくり推進^{すいしん}プロジェクト)。

子育て^{こそだ}しやすく、豊かな緑^{みどり}による安
らぎがあるなど、地域^{ちいき}の特徴^{とくちゆう}を生か
したまちづくりや、特徴^{とくちゆう}のある駅デ
ザイン^{えき}の取組^{とりぐみ}を進めていきます。

ワークショップの感想^{かんそう}とお礼^{れい}



みんなで話^{はな}している時が一番^{ときいちばん}たのしかった。
また参加^{さんか}したい (小5)

自分の理想^{じぶんりそう}の街^{まち}について
色々^{いろいろ}な意見^{いけん}を言うことができた (中3)

いろんな人^{ひと}と意見交換^{いけんこうかん}できて
新しい視点^{あたらししてん}を見つけた (高2)

ある程度^{ていど}の意見^{いけん}は言えたが、
正直^{しょうじき}まだ言い足りないところが多^{おほ}かった (高3)



東京都^{とうきょうと}のまとめ

自分の意見^{じぶんいけん}を自由^{じゆう}に話せるだけでな
く、ほかの人^{ひと}の意見^{いけん}も聴き、意見交
換^{かん}をできたことが良かったという声^{こえ}
が挙がっていました。様々なアイデ
ア^あが飛び交^かい、活発^{かつぱつ}に議論^{ぎろん}が行われ
たからこそ、「まだ言い足りない」
という声^{こえ}もありました。今回のワー
クショップでは、「理想^{りそう}のまち」に
ついてみなさんが自由^{じゆう}に話し合い、

発言^{はつげん}した内容^{ないよう}を付箋^{ふせん}に書き出して整
理^りするなど、ほかの人^{ひと}にも自分の考
え^えが分かるように取り組^{とりぐみ}む中で、話
し合いが活発^{かつぱつ}になっていくのが分か
りました。これからもみなさんが自
由^{じゆう}に意見^{いけん}を言える場^ばを作って、声^{こえ}や
思い^{おも}を聴き、東京都^{とうきょうと}の取組^{とりぐみ}につなげ
ていきます。

ワークショップの概要

テーマ

多摩都市モノレール延伸部
(上北台～箱根ヶ崎)のまちづくり

内容

東京都は、「TAMAまちづくり推進プロジェクト」を推進しています。多摩都市モノレールの延伸(上北台～箱根ヶ崎)の計画に合わせて、各駅の特徴を生かしながらまちづくりを進めるアイデアなどについて、子供たちから意見を聴き、取組について検討していくためのワークショップを開きました。

集まってくれた人数

19名 小学生(4～6年):10名/中学生:5名/高校生:4名

日時

2024年8月23日(金) 13時から15時30分まで

場所

立川駅周辺会議室

担当局

都市整備局



こどもワークショップってなに？

東京都は、子供の笑顔があふれる社会の実現を目指しています。

こどもワークショップは、社会の主役であるみなさんが
意見を出し合う場として開催しました。

東京都をもっとすてきな場所にするため、みなさんの思いや考えを聴きました。

なぜ、 子供に聴くの？

子供は社会の一員であり、たくさんの権利を持っています。
子供の権利が大切にされ、みなさんが幸せに過ごせるように
「東京都こども基本条例」ができました。

東京都こども基本条例

● 子供を権利の主体として尊重

子供には、誰もが持っている当たり前の「権利」があり、大切にされます。

● 子供の最善の利益が最優先

大人は、子供に最もよいことは何かを第一に考えます。

● 子供の意見は大切

子供の意見は価値があるものです。
大人は、子供の意見にしっかり向き合います。



東京都は、学校や水道、病院、道路、公園等によってみんなの暮らしを支えたり、社会のいろいろな問題を解決するために取り組んでいます。そして、子供のための取組を考えるときには、主役であるみなさんの意見を大切にしたいと考えています。
東京都は、これからもいろいろな方法で

みなさんの思いや考えを聴いて、政策に積極的に取り入れていきたいと思っておりますので、これからもぜひご意見をください。

東京都こどもホームページに
みなさんの声が
掲載されています



[編集・発行]

東京都子供政策連携室 企画調整部 企画調整課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番地1号

電話：03 (5388) 3812

E-mail：S1110301@section.metro.tokyo.jp

